

シルヴィアサリ、エウニク フェブリ。2014. 政樹谷村のドラマ「ライフ」によりすえのぶけいこの漫画「ライフ」へ苛めにエクラニサシ。ブラウイジャヤ大学日本文学科。

指導教員：(I) レトノ アンバルアスツチ (II) エリサベット フロ

キーワード：エクラニサシ、苛め、漫画、ドラマ、「LIFE」

漫画は、文学作品として楽しめるばかりに、監督がドラマ制作にアイデアになる場合もある。ドラマ化される文学作品はエクラニサシという。谷村政樹の作品「ライフ」はその一つである。本論文は、ライフの漫画とドラマの両方を比較し、描かれたいじめの類似と相違を説明したい。

本論文では、エクラニサシの理論を使って分析した。エクラニサシの理論によって、いじめの行動に増加、削減、または様々な変更に変更された。

分析の結果、漫画とドラマの両方を比較し、類似と相違が見られることがわかった。基本的に、その相違は、漫画に描かれたあるいじめがドラマに描かれなかったことである。その相違は、漫画にあるいじみを削減し、ドラマに増加で、新しいストーリーを追加するものである。

いじめの行動は日本で社会問題として有名である。それによって、筆者は次の研究をする者にライフの漫画とドラマを道徳的に研究するのをおすすめる。ライフの漫画とドラマでは、いじめの因果が描かれたシーンがあるからである。